

教職実践演習開講に向けての事前調査 ～教育実習後の補完箇所を探る～

教職実践演習準備委員会

(小学校担当) 森重 俊幸 山中 護

(幼稚園担当) 大野 雄子 吉村 真理子 新田 司

Preliminary research for starting "Practical training for the teaching profession"
– Reviewing the program after teaching practice –

Toshiyuki MORISHIGE Mamoru YAMANAKA
Yuko OHNO Mariko YOSHIMURA Tsukasa NITTA

本学に組織された教職実践演習準備委員会は、平成23年度より開講する教職実践演習がその趣旨・ねらいを踏まえ、教育実習を終えた学生が教員になる上で何が課題であるかの自覚を促し、知識、技能を補い、その定着を図ることができることを目指している。事前に充実した授業内容の構築を図るため、その前年である平成22年度の実習を終えた学生を対象に補完したいと思われる箇所がどのようなところにあるのか調査し、その結果の概要を報告した。

はじめに

平成18年7月11日中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」において教職実践演習の新設・必修化が示された。このことを受けて本学では、教員として求められる4つの事項（①使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児児童生徒理解に関する事項、④教科等の指導力に関する事項）を踏まえ本学では、授業内容（「教職実践演習（小学校）、保育・教職実践演習（幼稚園）シラバス」平成23年度後期実施）を作成した。

まず、シラバスの作成にあたり、本学が養成する望ましい教員像や到達目標等を考慮に入れ、工夫を盛り込んだ点について述べる。本学は創立60年となる小学校教諭、幼稚園教諭の養成校としての実績を有し、地域での信頼も厚い。平成12年からは保育士養成課程を開設し、多くの小学校教諭や幼稚園教諭、保育士を輩出している。

本学の演習の充実を図るための第一の特徴として、実際に教育現場で教員として多くの経

験を重ねた卒業生や、地域の教育現場等で実践研究を行う小学校教諭、幼稚園教諭を本演習へのゲストスピーカーとして起用した。

第二に、本学が小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の養成校であることを生かし、「幼児教育振興アクションプログラム」（平成18年10月4日文部科学省）を視野にいれ、子どもを取り巻く環境の変化に適切に対応できる教育者・保育者の養成を目指している点である。特に、シラバスの中に示すように、小学校教諭志望者と幼稚園教諭志望者または、保育士志望者が合同で参加するシンポジウムの実施を設定している。平成23年度は、「小学校、幼稚園の連携について」をテーマに取り組みをテーマとする予定である。

第三に、本学に平成21年10月より総合子ども学研究所が設立され、全教員が現代の子どもを多領域から捉えられるよう学生に講義を行っているが、そのことにより、現在に即した子ども観が養われた学生が教員としての知識や技能をいかに現場で発揮できるかという点にある。

本学では、平成23年度後期に開講する「教職実践演習（小学校）」「保育・教職実践演習（幼稚園）」準備にあたり、教職実践演習準備委員会（平成22年4月～10月）が組織され、種々検討がなされてきた。学生が実習を通し、どのようなことに補完の必要性を感じたかを明らかにし、ここに報告する。

調査目的

調査の目的は、以下の2点である。

- ①教育実習後の学生がどのような点について補完を望んでいるか明らかにすること。
- ②調査結果の分析から、教職実践演習（小学校）、保育・教職実践演習（幼稚園）の内容の充実を図る。

調査方法

アンケート調査は、平成22年度教育実習終了後の2年生を一堂に集め行った。実習後の2年後期の授業でさらに学びたいと思うことを想定し、アンケートに記入するよう説明を行った。

・調査時期：平成22年10月8日

・調査対象者：本学2年生

小学校実習者 36名（男子14名 女子 22名）

幼稚園実習者 133名（男子 2名 女子131名）

・調査票の回収数：小学校33名（男子11名 女子 22名）回収率91.7%

幼稚園120名（男子 2名 女子118名）回収率90.2%

調査票

調査票を作成するにあたり、事前に予備調査（平成22年7月）を行った。予備調査では「教育実習後に補完したいと思ったこと」という表現でアンケートを作成したが、学生は、あくまでも実習生の立場で実習を行うため、自らの不十分さには気がつくものの、教員としての全体像が捉えられず、「補完する」という表現に戸惑いが多く見られたため、「教育実習後にさらに学びたいと思ったこと」という表現に修正した。実習を行った学校種により小学校用と幼稚園用の二種類のアンケートを作成した。（別添1「教職実践演習（小学校）に向けてのアンケート」、別添2「保育・教職実践演習（幼稚園）に向けてのアンケート」）によって、結果・まとめについても学校種によって分けられている。

調査結果

調査結果は学生が自由記述したものを同じ内容または近い内容で項目を作り分類、集計した。分類、集計は、小学校の箇所は2名、幼稚園の箇所は3名で行い妥当性が得られるよう心掛けた。また、複数回答はあるものとして延べ人数を集計した。

【小学校実習者の結果】（複数回答あり）

1. 教職の意義、教師の役割、職務内容、子どもに対する責任などについて実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|-------------------------------------|-----|
| (1) 教師の仕事内容についてもっと細かく学んで実習に行けばよかった。 | 2人 |
| (2) 学級経営に関すること（児童理解など） | 1人 |
| (3) 保護者への対応（児童がけがをしたときなど） | 1人 |
| (4) 地域との交流など | 1人 |
| (5) 週学習指導計画の作成について | 1人 |
| (6) 実習をふまえて「わかる・楽しい授業づくり」について学びたい | 1人 |
| (7) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 26人 |

2. 挨拶や言葉遣いなど、社会人としてのマナーと組織内での社会性について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 挨拶や言葉づかい（敬語の使い方等） | 7人 |
| (2) 校長室等での対応（座席、どこに座るべきか） | 3人 |
| (3) 報告・連絡・相談の仕方 | 2人 |
| (4) 電話の対応や来校者への応対等 | 2人 |
| (5) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 20人 |

3. 小学校教諭としての責任と子ども・保護者への対応について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) 難しい保護者への対応（モンスターペアレントなど）	11人
(2) 保護者対応の事例をもとに演習を行う	5人
(3) 保護者とどのように信頼関係をつくるか	2人
(4) けがをしたときの保護者への対応	1人
(5) 家庭状況による対応（外国籍の児童，片親家庭など）	1人
(6) 無回答もしくは，要領を得ない回答	21人

4. いじめや不登校への対応について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) ソーシャルスキルトレーニングなど	1人
(2) いじめについて	
① いろいろないじめの対応策について事例をもとに演習を行う	8人
② 起きたときの具体的な対応策について	4人
③ どんないじめが学校でおきているのか	2人
④ 解決に向けた学校全体での対応について	2人
⑤ いじめが起きない学級経営について	1人
(3) 不登校の子どもについて	
① どのようにして解決していくか事例をもとに学ぶ	7人
② 不登校の子どもの背景にあるもの	1人
③ 何が必要で，何をしてはいけないのか	1人
(4) 無回答もしくは，要領を得ない回答	14人

5. 学級経営について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) 学級経営とはどういうことか具体的に学びたい	4人
(2) 学級経営の具体的な話を現場の先生に聞きたい	3人
(3) 掃除や給食の指導は具体的にどうするのか	1人
(4) 学級委員の役割（リーダーの育て方），係活動をどう充実させるか	1人
(5) 学級のまとまりや集団としての力を伸ばす指導をどうするか	1人
(6) クラス目標の立て方	1人
(7) 発達段階に応じた学級経営のありかた	1人
(8) 教室環境（学級目標，掲示物など）あり方	1人
(9) 無回答もしくは，要領を得ない回答	21人

6. 学級経営案について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) 学級経営案について（作成の手順や内容等） | 8人 |
| (2) 学級経営案をどのように活用するのか | 4人 |
| (3) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 23人 |

7. 公開授業現地調査を行いたい①施設、②授業参観、③公開研究会、④地域イベントなどについて

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) 施設 | 0人 |
| (2) 授業参観 | |
| ①授業参観 | 5人 |
| ②多くの先生の授業をみてみたい | 5人 |
| ③実習校以外の授業もみてみたい | 3人 |
| (3) 公開研究会 | |
| ①研究がすすんだ学校の授業がみたい | 4人 |
| ②道徳の授業がみたい | 1人 |
| (4) 地域イベントなど | 0人 |
| (5) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 20人 |

8. 学習指導案について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 実習中取り組まなかった教科の指導案を作成する | 4人 |
| (2) 実習後も多くの教科の指導案を作成する | 4人 |
| (3) パソコンを使って多くの指導案を作成する | 4人 |
| (4) 完璧な指導案の書き方を再度指導してほしい | 1人 |
| (5) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 11人 |

9. 学習意欲を育む授業作りや教材研究について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|----------------------------|-----|
| (1) 時間をかけて教材研究をする | 7人 |
| (2) 授業の導入、発問、板書などについて学びたい | 5人 |
| (3) わかる・楽しい授業をどう展開するか学びたい | 2人 |
| (4) 現場の30代～40代の先生の話を知りたい | 1人 |
| (5) 公開授業や研究会で参加し多くのことを学びたい | 1人 |
| (6) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 19人 |

10. その他、補完したいと思われることについて

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 教材研究を行い、模擬授業をもっとたくさん行う | 2 人 |
| (2) 週学習計画案の作成方法を学びたかった | 1 人 |
| (3) 社会人としてマナーやモラルに関する指導を徹底する | 1 人 |
| (4) 無回答もしくは、要領を得ない回答 | 29 人 |

【幼稚園実習者の結果】(複数回答あり)

1. 教職の意義、教師の役割、職務内容について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|------------------------|------|
| (1) 教職の意義全般 | 3 人 |
| (2) 指導案・教材研究 | |
| ①指導案の書き方 | 5 人 |
| ②環境構成について | 2 人 |
| ③教材研究について | 1 人 |
| (3) 保護者への対応 | |
| ①保護者への関わり方 | 11 人 |
| ②その他 | 3 人 |
| (4) 子どもとの関わり | |
| ①子どもたちへの対応 | 12 人 |
| ②援助の仕方に関すること | 8 人 |
| ③発達に関すること | 7 人 |
| ④言葉掛けに関すること | 7 人 |
| ⑤遊びに関すること | 3 人 |
| (5) 幼稚園での勤務、職務に関することがら | |
| ①職務内容 | 14 人 |
| ②勤務時間 | 3 人 |
| ③研修 | 2 人 |
| ④人間関係 | 2 人 |
| (6) 保育内容 | 9 人 |
| (7) 責任実習 | 3 人 |
| (8) 無回答、要領を得ない回答 | 30 人 |

2. 挨拶や言葉遣いなど、社会人としてのマナーと組織内での社会性について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) 言葉遣い

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| ①敬語（対教師，対保護者） | 39人 |
| ②子どもへの話し方（分かりやすい表現, 丁寧な表現, 集団への話し方など） | 10人 |

(2) 目上の人との人間関係

- | | |
|------------|-----|
| ①場に適した挨拶 | 21人 |
| ②コミュニケーション | 12人 |

(3) 常識的なマナー

- | | |
|----------------------------------|-----|
| ①礼儀作法や場に応じた判断 | 11人 |
| ②お茶の入れ方 | 5人 |
| ③掃除の仕方 | 3人 |
| ④電話のかけ方 | 2人 |
| ⑤礼状の書き方 | 2人 |
| ⑥箸や鉛筆の持ち方 | 2人 |
| (4) 日常で心掛けて学ぶものであり，授業で学ぶべきことではない | 6人 |
| (5) 無回答 | 9人 |

3. 幼稚園教諭としての責任と子ども・保護者への対応について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) 子どもの怪我に対する対応

- | | |
|---------------|----|
| ①保護者への対応の仕方 | 2人 |
| ②保護者への連絡の仕方 | 5人 |
| ③保護者への謝罪について | 2人 |
| ④怪我をした子どもへの対応 | 5人 |

(2) 子どもの安全に関する対応

- | | |
|-------------|----|
| ①安全に対する配慮 | 2人 |
| ②安全か危険かの見極め | 4人 |

(3) 連絡帳の扱い

(4) 保護者への対応

- | | |
|------------------|-----|
| ①保護者への対応について | 25人 |
| ②クレームなどの事例について | 3人 |
| ③子どもに対して冷たい親への対応 | 2人 |

(5) 保護者との関わりについて

①登園時	2人
②降園時	6人
③送り迎え時	4人
④会話（コミュニケーション）、挨拶、話題	16人
⑤質問・相談	8人
⑥関わりの程度（距離感）	4人
⑦言葉遣い	1人
⑧保護者への対応で教員が悩んでいること	1人
⑨来園していた保護者への態度	3人
⑩投薬に関して	2人

(6) 無回答，要領を得ない回答 20人

4. 幼児理解とクラス経営について，登園しぶりや特別な支援を要する子への対応について
実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) 登園渋り，情緒不安定

（登園時，お母さんと離れるときに泣いている子の気分の変え方） 15人

(2) 発達障害が疑われる子ども（多動，自閉傾向，集団行動が取れない） 33人

(3) 発達の個人差（製作・食事に時間がかかる，箸・はさみがうまく使えないなど） 14人

(4) 障害のある子とクラス全体健常児（個別指導と全体指導との兼ね合い） 13人

(5) 事例と対応 9人

(6) その他の障害（聴覚障害，股関節脱臼） 3人

(7) 保護者対応（障害がある子の親への対応，登・降園時の親との対応） 3人

(8) その他（「隣のクラスの子はちゃんとしていたよ」という言葉掛けでやる気を起こさせる方法の是非） 4人

(9) 無回答，要領を得ない回答 27人

5. 保育記録と指導案について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) 保育記録について

①記録の中での言葉遣い，表現，漢字を使うのか使わないのかなど 12人

②実習生としての日々のねらいのもち方 12人

③その日の着眼点や的を絞った書き方や連続性をもった書き方
（毎日同じ内容になってしまうなど） 7人

- ④保育者の援助
(保育者の動きは理解できるがその援助の意図を推測できない) 4人
- ⑤個人の記録の書き方 4人
- ⑥その他(指摘がなかったのでこれでよいのか分からない、
前日に注意を受けたことは修正して提出すべきかなど) 4人
- (2) 保育指導案について
- ⑦授業でもっと書く機会や時間が欲しい 10人
- ⑧園によって、指導する保育者によって指摘が異なり戸惑った 15人
(環境や安全について重点的に書きなさい、一枚にまとめなさい、枚数があればあるだけ良い、
5領域につながるねらいを設定しなさい、「子どもの評価」という項目があったなど)
- ⑨ねらいの設定が難しい 11人
- ⑩環境構成の書き方 5人
- ⑪その他(指導案について学んだことを情報交換したい。1人、
自由保育についてもっと学んでおきたかった。1人)
- (3) 保育記録、保育指導案の区別がないもの
- ①あまり指導されなかったため、これでよいのか不安になった。 4人
- ②どこまで細かく書いたらよいのか。 5人
- ③効率よい書き方を知りたい。 2人
- (4) 無回答、要領を得ない回答 15人
6. 保育技術について(言語表現)実習後さらに学びたいと思ったこと。
- (1) 教師の言葉遣い
- ①正しく、丁寧な言葉 6人
- ②子どもの興味を惹きつける言葉の掛け方 13人
- ③発音や声のトーンを変える。声色を変えてメリハリ 5人
- (2) 子どもが理解しやすい言い回しや話し方
- ①子どもの年齢や発達に適した言い回し 36人
- ②ゲームのルールや製作の理解しやすい説明 5人
- (3) 絵本・紙芝居の読み聞かせ(季節や発達に即した絵本、抑揚のつけ方など) 12人
- (4) 子どもの褒め方、叱り方 3人
- (5) 子どもの喧嘩や興奮している子どもへの対応 4人
- (6) 言葉遣いが悪い子への対応 3人
- (7) 無回答、要領を得ない回答 23人

7. 保育技術（幼児期の造形表現）について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|--|-----|
| (1) 個人差への対応 | |
| ①早くできる子・最後までできあがらない子, 月齢差,
得意な子・苦手な子, 丁寧な子 | 17人 |
| ②クレヨンでぐちゃぐちゃに塗ってしまう子 | 2人 |
| ③友だちに作ってもらい, 友達の真似をする, 「やって」と言う子, 諦めてしまう子 | 3人 |
| (2) 年齢別の子どもの造形表現の理解 | |
| ①道具や材料の使い方 | 4人 |
| ②年齢ごとにどの位のことができるのかを理解したい | 20人 |
| (3) 指導の技術を学びたい活動 | |
| ①折り紙・新聞紙を使ったあそび | 12人 |
| ②粘土あそび | 3人 |
| ③絵の描き方(口が黒, 顔がピンク色, 絵を描かない子, 絵の見方, 褒め方など) | 6人 |
| (4) 子どもに対する支援の仕方 | |
| ①子どもへの言葉掛け(発想が浮かぶ言葉掛け, 上手に作れない子,
失敗作なのに満足している, 同じ言葉掛けになる) | 16人 |
| ②作り方の説明の仕方 | 3人 |
| ③導入, モチベーションの高め方 | 2人 |
| ④見本を作成しておくべきかどうか | 1人 |
| ⑤作ったブロックの作品は壊すべきかどうか | 1人 |
| ⑥その他(模擬保育のようにうまくいかなかった,
更なる造形表現の高みが知りたい) | 3人 |
| (5) 無回答, 要領を得ない回答 | 19人 |

8. 保育技術（幼児期の音楽表現）について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 歌唱指導について | |
| ①歌唱の指導方法 | 12人 |
| ②先歌い | 8人 |
| ③歌を歌わない子への対応 | 7人 |
| ④初めて歌う歌の指導 | 6人 |
| ⑤音程やリズムの取れない子への対応 | 3人 |
| ⑥子どもへの効果的な言葉掛け | 2人 |
| ⑦声と伴奏の大きさ | 2人 |

- (2) ピアノ伴奏について
- ① 保育の場を想定したピアノ練習（速さ・指を見ないで弾き歌いをする） 20人
 - ② レパートリーを増やしたい 6人
 - ③ ピアノでの合図や効果音など、子どもの興味を惹きつけるテクニック 2人
- (3) リズムあそび，手遊び，リトミックについて
- ① リトミックについて（年齢別の指導法） 15人
 - ② 手遊びのレパートリーを増やしたい，年齢に応じた手遊びを学びたい 7人
- (4) 楽器の使い方の指導（カスタネット，ピアノカ，鼓笛など） 7人
- (5) その他
- ① 年齢に応じたリズムあそびや歌を使ったあそびを学びたい 3人
 - ② 体操やダンス 2人
- (6) 無回答 14人

9. 保育技術（幼児期の身体表現）について実習後さらに学びたいと思ったこと。

- (1) リトミックについて
- ① リトミックについて，その指導方法
（言葉のかけ方，年齢に合わせた振り付け）をもっと学びたい 11人
 - ② 実習前に受講しなかった（実習は前期であり，授業は後期に受ける予定） 4人
- (2) 体操，ダンスについて
- ① 幼稚園で行っている体操（「アンパンマン体操」「ディズニー体操」など） 13人
 - ② 体を使った歌 11人
 - ③ 指導上で気をつけること，年齢によりどのくらい踊るのか 2人
 - ④ 組み体操，ポンポンを使ったダンス 2人
- (3) ゲーム，運動あそびについて
- ① いろいろなゲームあそび 10人
 - ② 年齢によってどのようなゲームや運動遊びをしているか 3人
 - ③ ルールの説明の仕方，進め方の実践 5人
 - ④ 縦割り保育でできるあそび，ゲーム 1人
- (4) その他の身体表現と指導方法について
- ① 跳び箱，マット，鉄棒の補助および指導の仕方 8人
 - ② パラバルーン，スキップ，ジャンプ，水泳 4人
 - ③ 年齢別または個人差に対応した動作やあそび 5人

④動こうとしない子, 外に出ようとしない子, 転んでしまって 「もうやらない」と言う子どもへの対応	5人
⑤体調の悪い子どもの見分け方	1人
⑥子どものイメージと身体表現のつながり	2人
⑦どの程度で危ないと止めたらいいか	2人
⑧他のあそびに移るきっかけ	2人
⑨子どもが体を動かすことを楽しいと思えるにはどうしたらよいか	1人
(5) その他(体育講師が指導していたので, 何をしたらよいかわからなかった)	6人
(6) 無回答	24人

10. 保育技術(幼児期の心の発達と人間関係)について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(1) けんか, 仲間外れ(けんかの仲裁, 自分たちで解決できないようにする 働きかけ, 物の取り合い, 泣いている子への対応)	52人
(2) 引っ込み思案, 孤立, 緘黙, 狭い友だち関係	14人
(3) わがまま, 嘘, 反抗的な態度, 言語化できず暴力をふるってしまう, 偏食	9人
(4) 発達(遊び, 友だち, 道具の使い方)	7人
(5) 子どもとの信頼関係づくり(積極的に近づいてくる子以外の子どもとの 関わり, 友だち関係のようにならない関係)	6人
(6) 性差, 異年・月齢, 個性	4人
(7) 甘えの受け入れ(抱っこやおんぶをせがんでくる子への対応)	3人
(8) 情緒不安定(突然泣き出す, 母親の体調が悪い)	3人
(9) 無回答, 要領を得ない回答	23人

11. 実習後に現地調査をしたいと思う施設について実習後さらに学びたいと思ったこと。

(複数回答あり) * () 内は人数を示す

(1) 実習をした幼稚園	18人
・子どものその後の成長についてみたい (6)	
・反省を踏まえ, 再度実習したい (3)	
・学びきれなかったことをもっと学びたかった (2)	
・前の自分の姿をみて頂いているので, 改善されたかみて欲しい (1)	
・行事の様子をみたい (1)	
・子どもや保護者への対応や気配りについて知りたい (1)	
・保育以外のことも学びたい (1)	

- ・理由なし (3)
- (2) 実習をしていない幼稚園 63人
- ・実習園との違いを知りたい (29)
 - ・他の園の指導方針や子どもへの保育の仕方 (5)
 - ・私立と公立の違いを知りたい (4)
 - ・他の先生、園行事などを知りたいから (3)
 - ・一日の様子、園の雰囲気 (3)
 - ・新しい学びをしたい (1)
 - ・違う評価がみたい (1)
 - ・もっと外で元気に遊んでいる園に行きたい (1)
 - ・実習幼稚園のクラスは宗教みたいだったから (1)
 - ・子どもへの援助の仕方をみてみたい (1)
 - ・実習をした系列の幼稚園（就職を考えて）(1)
 - ・実習先は教育に力を入れたいたので、自由保育の場所に行ってみたい (1)
 - ・理由なし (12)
- (3) 小学校または保育所 24人
- ・小学校でどのようなことをしているのか (5)
 - ・幼稚園を卒園していくところなのでどのようなことをしているのかをみたい (4)
 - ・小学校教諭免許も取るので、仕事内容を知りたい (2)
 - ・いろいろなところをみたい (2)
 - ・小学1, 2年生を見て、幼稚園卒園時にどのようなことを学ばせたら良いのかをみたい (1)
 - ・幼稚園を卒園してからの発達をみたい (1)
 - ・保育所もみたい (1)
 - ・保育所の流れが好きだから (1)
 - ・理由なし (7)
- (4) 認定子ども園 49人
- ・どのようなことを行っているのか知りたい (20)
 - ・幼稚園・保育所との違いを学びたい (11)
 - ・一日のながれについて知りたい (4)
 - ・幼保一元化になっている園について知りたい (3)
 - ・認定子ども園が増えてくると思うのでみたい (2)
 - ・子どもの様子をみたい (1)
 - ・理由なし (8)

- | | |
|--|-----|
| (5) 発達障害の関連施設 | 34人 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ より理解を深め、よい援助方法を知りたい (13) ・ どのような支援をしているのか気になるから (7) ・ 子どもに接したい (3) ・ 障害に興味があるから (2) ・ 業務内容、施設見学がしたい (2) ・ 実際に施設実習に行き保育士でもこのような職業に就けるのだと知ることができた (1) ・ 実習先では発達障害の子がいなかったので、就職したときにどうしたらよいのか分からないという不安がある (1) ・ 障害があっても、園でその子に対する援助は整っているか (1) ・ もう少し深く関わり、新たな一面をみたい (1) ・ 理由なし (3) | |
| (6) 教育相談・発達相談の施設 | 16人 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設設備、業務内容を知りたい (5) ・ 親へのよりよい支援 (4) ・ 教科書だけでなく、実際に体験したい (1) ・ 教師としての関わり方を知りたい (1) ・ カウンセラーの支援の仕方をみたい (1) ・ 子どもの心理について知りたい (1) ・ 悩みや不安に対してどのように対応しているのかを知りたい (1) ・ 理由なし (2) | |
| (7) 子育て支援を行う施設 | 28人 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務内容を知りたい (7) ・ どうやって相談にのるのか知りたい (4) ・ 保護者はどのような悩みを抱えているのか (2) ・ 社会施設について学びたい (1) ・ 教科書だけでなく、実際に体験したい (1) ・ 幼稚園以外でどのようなことをしているのかを知りたい (1) ・ ファミリーサポートセンターの実態を知りたい (1) ・ 虐待の疑いのある子に対してどうしたらよいのか (1) ・ 理由なし (10) | |
| (8) その他 | 9人 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 託児所 (2) ・ 児童館を見学したい (1) ・ 病児保育に興味がある (1) ・ 理由なし、要領を得ない回答 (5) | |

考察とまとめ

【小学校】

学生は、実習の経験を通して教員の仕事として授業以外にも学級事務、保護者対応など様々な仕事があることがわかった。教員の仕事はこれまでの講義の中で多く学んできたが、実習を通して学校全体の中で教員の仕事について詳しく学びたいという意識に変わったといえる。

実習中にどう対応すればよいか困ったことの体験から、社会人としてのマナーについて実習後に学ぶ必要があると考えた。学校が組織として仕事を進める上で必要な報告・連絡・相談ができることは重要な要素であるが本学ではマナー講座等を行い学生に身に付けるようにしている。また、電話対応や来校者対応など具体的な場面を想定して演習等を行う必要がある。

保護者対応については、実習場面では体験することはほとんどないが、学習指導や学級経営に関わるクレームを言ってくる保護者にどう対応すればよいかについて、保護者との信頼関係を築くために教員がどう対応するかについて、事例をもとに学ぶ必要がある。

小学校の教育現場でも大きな課題であるいじめや不登校の問題については、実習校でそうした現実を知った学生もそうでない学生も関心が高く、実習後に学びたいという意見があった。現場での事例をもとに演習などで学ぶと同時に最新の状況についても学びの場を設定する必要がある。

学級経営に関わる項目については、学級経営のあり方について学び、それを実現するための学級経営案の作成など演習を通して学ぶ必要がある。

実習先での授業だけでなく、学校現場でどのような実践が行われているのか、普段の授業や研究会等での授業を参観して学ぶ必要があると考える。その中で先進的な研究やすぐれた実践から多くを学ばせたいと考えている。実習後には、近隣の学校の研究会等に参加する機会を持ち実習の経験を生かした学びを充実させたい。

授業づくりや教材研究については、実習で指導を受けた事項や精練授業の経験をもとに、さらに、現場の先生の話聞くなどして、子ども達にとって「わかる・楽しい」を目指して、再度学ぶ必要がある。

【幼稚園】

調査の結果を質問項目順にまとめた。

まず、「教職の意義、教師の役割、職務内容」について述べる。実習において保育者のあり方を最も強く自覚するのは、子どもと関わる場面であり、アンケートでも課題として挙げている学生も多い。一方、実習によって実際に現場で勤務している保育者に対して、強い関心をもったことが分かる。全般的にみると、無回答が22人と他の質問項目に比べ多く、「教職の意義」について、十分な理解がなされていないことも判明した。保育者としてのあり方を、より一層自覚出来るような働き掛けが必要だと思われる。

次に、「挨拶や言葉遣いなど、社会人としてのマナーと組織内での社会性について」は、実習生という立場ではあるが、組織の一員となり、目上の人とどのようにコミュニケーションをとればよいのか、保護者に不安や不信を与えないようにするにはどうしたらよいのかという思いが、敬語の使い方や礼儀作法等の常識的なマナーについて学びたいという回答に結びついているのではないかと思われた。常識的なマナーは日常で心掛けて学ぶものであり、授業で学ぶべきことではないという意見もあるが、子どものモデルとなる立場として、また本学の卒業生として恥ずかしくないマナーを身につける点においては再度確認をすべきことである。場と状況を見極め行動をする判断力をも合わせて捉える機会としたい。

「幼稚園教諭としての責任と子ども・保護者への対応について」は、事例研究などを通して授業で学ぶことがあるものの、実際の経験が乏しく、実習中最も対応に困難さを感じる事がらである。具体的な場面が多岐にわたって挙げられていることから、対応に苦慮した様子が見られる。しかし、「保護者への対応」と漠然とした回答をした学生も多く居り、保護者と関わることで自体が大変だと感じ、どのように対応したらよいか見いだせずに実習を終えた学生も少なくない。この点については、実習後、一層のフォローが必要であると思われる。

「幼児理解とクラス経営、登園しぶりや特別な支援を要する子への対応について」は、発達障害が疑われる子どもや登園を渋る子どもへの対応についての回答が多く見られた。学生は、授業等で、それらの原因や対応については学んでいる。しかし、教育・保育の現場では、障害のある子への個別対応と同時に、常にクラス全体への対応が求められる。障害のある子をも含めたクラス全体を掌握し、活動を停滞させない具体的スキルやクラス経営、他機関との連携について、実習を通して学び、再度、就職までにまとめておく必要性を感じた。

「保育記録と指導案について」学生は、教育実習Ⅰの授業で事前に保育記録（実習日誌）の書き方は学んではいるが、観察した状況を簡潔にまとめる力は不足している。また、日々の実習生としてのねらいを設定し、実践から反省に繋げ、次の子どもへのかかわりに生かすという指導の中で、ねらい自体を定めることが難しいという回答が目立った。それにより、連続性をもった記録にも繋がらなかったのではないかと推測をする。実習生といえど、保育者として子どもとかかわる上でねらいは欠くことはできない。実習前に子どものあそびの様子や生活の様子を更に知らせることが課題である。また、指導案については、実習園や実習中の指導者により指摘されることが異なり、学生の戸惑いがうかがえた。一方で完成された指導案があることを求める声もある。そこで、指導案の本来の目的を再度確認し、子どもの実態を捉えていく目を育てたいと感じた。

言語表現については、まず、子どもたちにとってモデルとなりうる言葉遣いや、子どもとかかわる上で効果的な発声や言葉掛けの方法、絵本や紙芝居等の保育技術等について学びたいという保育者としての技術的な課題が挙げられている。そして、その課題の達成のために

も、また子ども自身の言葉の発達についても詳しく学ぶ必要性を実感している様子が見えた。

「幼児期の造形表現について」述べると、責任実習を行う際は、中心となる保育で子どもたちが一同に製作をすることが多かったことにより、一斉保育という点において、学生の意識の中に出てくる・出てこない、上手・下手の観点が現れやすいのではないかと推測される。子どもの表現活動の意義を改めて問いかけるとともに、それに応えるべく、保育者自身の表現力・発想力を高める必要がある。また、年齢によってどのようなことが出来るのかという学生の疑問は、予想以上に多く、子どもを捉えることへの経験不足ともいえるが、担任と子どもの様子について情報交換をすることで補うことができるのではないかと考えられた。

「幼児期の音楽表現について」は、歌唱指導の方法やピアノ伴奏についてさらに学びたいという回答が多かった。それらは、事前の授業では行っていないものの、子どもを目の前にすると、先歌いや歌を歌わない子への対応、子どもの様子を見ながら伴奏をしなければならないなど、学生は、想定していない状況に対応した力を補完しなければならないと理解した。

幼児期の身体表現については、リトミックや体操、ダンス、ゲーム、運動あそびなど年齢や状況に即し実践できるレパートリーを増やしたいという意見が多い。そして、それに伴う説明の仕方も挙げられた。模擬保育を通し、更なる実践が必要とされる。また、跳び箱や鉄棒、プール、パラバルーンの効果的な指導方法等については、小学校へ繋ぐ段階であることを考慮に入れる必要がある。その他、リトミックの授業については、実習後に授業が組まれているという現状があったため検討すべきことである。

幼児期の心の発達と人間関係については、保育者と子どもたちとの関わりすべてが含まれるといってもよい。実習中に観察した担当の先生と子どもとの関わりや、学生が子どもたちとかわかった実践を記載した実習記録を教材として、課題としたい事例を取り上げ、より良い支援について、グループ・カンファレンスを行うのもよいだろう。

「実習後に現地調査をしたいと思う施設について」は、実習をしていない幼稚園という回答が多く、自分が実習をした園との違いを知りたいという意見があった。また、小学校において発達や学びの連続性を認定子ども園や保育所らにおいて、その連携や保育の内容を調査したいという意見が目立つ。その他幼稚園で子どもや親を支援する上で、発達障害の関連施設、教育相談・発達相談の施設、子育て支援を行う施設との連携も必要であろう。この結果を踏まえ、学生にとって意義のある現地調査となるよう調査先や日程の調整を図りたい。

以上、補完箇所を明らかにするために行った調査ではあるが、この結果から保育・教職実践演習の内容の充実以外に日々の授業や実習事前指導の中で、心掛けて学びを深めさせたい箇所も見えてきた。実習までの学習がさらに実習を充実させることとなり、充実した実習となればこそ、その後に行われる保育・教職実践演習の内容も深まりをみせるに違いない。そ

のような循環も視野に入れ、本学が一丸となって質のよい教員，保育者の養成に努めたい。

【参考・引用】

- ・千葉敬愛短期大学 平成23年度シラバス「教職実践演習（小学校），保育・教職実践演習（幼稚園）」
- ・文部科学省中央教育審議会 平成17年12月「今後の教員養成・免許制度の在り方について（中間報告）」Ⅱ．教員養成・免許制度の改革の具体的方策 1．教職課程の質的水準の向上，別添1．「教職実践演習（仮称）」について（イメージ）
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/05120802.htm
- ・文部科学省中央教育審議会 平成18年7月「今後の教員養成・免許制度の在り方について（答申）」Ⅱ．教員養成・免許制度の改革の具体的方策 1．教職課程の質的水準の向上（2）「教職実践演習（仮称）」の新設・必修化，別添1「教職実践演習（仮称）」について
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/06071910.htm
- ・文部科学省 平成18年10月「幼児教育振興アクションプログラム」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/18/10/06100406/001.htm
- ・文部科学省 平成20年11月「教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令及び教員免許更新制の実施に係る関係告示の整備等について（通知）」
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/08111006.htm

(別添1)

教職実践演習に向けてのアンケート(小学校) 氏名

このアンケートは、H23年度より開講する「教職実践演習」の授業内容の充実を図るため、教育実習を終えたばかりの学生を対象に、実習後さらに学びたいと思ったことについて調査するために行われるものです。以下の項目について、具体的な場面や意見を記入してください。なお、個人のプライバシーが侵害去れることの無いように、このアンケートの結果は、調査統計以外の目的には利用されません。率直な回答をお願いします。

2010年10月 教職実践演習準備委員会

- 1, 教職の意義, 教師の役割, 職務内容, 子どもに対する責任などについてさらに学びたいと思ったこと
- 2, 挨拶や言葉遣いなど, 社会人としてのマナーと組織内での社会性についてさらに学びたいと思ったこと
- 3, 小学校教諭としての責任と子ども・保護者への対応についてさらに学びたいと思ったこと
- 4, いじめや不登校への対応についてさらに学びたいと思ったこと
- 5, 学級経営についてさらに学びたいと思ったこと
- 6, 学級経営案についてさらに学びたいと思ったこと
- 7, 現地調査を行いたい①施設, ②授業参観, ③公開研究会, ④地域イベントなどについて
- 8, 学習指導案についてさらに学びたいと思ったこと
- 9, 学習意欲を育む授業作りや教材研究についてさらに学びたいと思ったこと
- 10, その他, 補完したいと思われることについてさらに学びたいと思ったこと

(別添2)

保育・教職実践演習に向けてのアンケート(幼稚園) 氏名 _____

このアンケートは、H23年度より開講する「保育・教職実践演習」の授業内容の充実を図るため、教育実習を終えたばかりの学生を対象に、実習後授業でさらに学びたいと思ったことについて調査するために行われるものです。以下の項目について、具体的な場面や意見を記入してください。なお、個人のプライバシーが侵害されることの無いように、このアンケートの結果は、調査統計以外の目的には利用されません。率直な回答をお願いします。

2010年10月 教職実践演習準備委員会

- 1, 教職の意義, 教師の役割, 職務内容についてさらに学びたいと思ったこと
- 2, 挨拶や言葉遣いなど, 社会人としてのマナーと組織内での社会性についてさらに学びたいと思ったこと
- 3, 幼稚園教諭としての責任と子ども・保護者への対応についてさらに学びたいと思ったこと
- 4, 幼児理解とクラス経営について, 登園しぶりや特別な支援を要する子への対応についてさらに学びたいと思ったこと
- 5, 保育記録と指導案についてさらに学びたいと思ったこと
- 6, 保育技術について(言語表現) さらに学びたいと思ったこと
- 7, 保育技術について(幼児期の造形表現) さらに学びたいと思ったこと
- 8, 保育技術について(幼児期の音楽表現) さらに学びたいと思ったこと
- 9, 保育技術について(幼児期の身体表現) さらに学びたいと思ったこと
- 10, 保育技術について(幼児期の心の発達と人間関係) さらに学びたいと思ったこと
- 11, 実習後に現地調査をしたいと思う施設について()に○をつけ, 補完したい事項について簡単に書いてください。(複数回答可)

- ①実習をした幼稚園() _____
- ②実習をしていない幼稚園() _____
- ③小学校または保育所など() _____
- ④認定子ども園() _____
- ⑤発達障害の関連施設等() _____
- ⑥教育相談・発達相談の施設() _____
- ⑦子育て支援を行う施設() _____
- ⑧その他() _____

12. その他, 補完したいと思われることについて